



ニューズレター あすか

2009
1月号

通算 190号

2009年1月1日

謹賀新年



理事長 高橋 勲



2008年もみなさまのお陰でつつがなく過ぎることができましたこと厚く感謝申し上げます、

2008年は医療法人あすかにとりましては大きな節目の年になりました。念願のあすか療養センターの開設、通所施設のリハビリを充実したいとの思いから、通所リハビリテーション「すてっぷ」の新設、しゅりあちよーくにリハビリ専用施設を拡充したことなど、スタッフ一丸となって計画立案を行い完成することが出来ました。

2009年は、これらの施設に「心」を吹き込んでいく年にしていきたいと思っています。施設の建設や拡充は、私たちがいろいろ考え、思いを業者に伝えたとはいえ、業者の力が大きいものです。しかし、それを患者様にご利用

者様のためにいかに役立て、最大限活用していくかは私たちの力にかかっています。あすかの医療、介護施設がみなさまにとりまして「喜び」や「安心」、「信頼」の広場となるよう全力を尽くしてまいりたいと思います。みなさまの一人おひとりの思いをしっかりと受け止め、ともに心を動かし、ともに笑うことが出来るよう日々努力をしていく所存でございます。

又、高齢者に於きましては、医療面の管理がとて大切で、「高血圧」、「糖尿病」、「高脂血症」などの慢性疾患がある方は服薬管理、生活管理に力を入れていきます。

「認知症」におきましては早期発見、早期治療、適切な生活指導に一生懸命取り組みます。またインフルエンザワクチンや肺炎球菌ワクチンの接種の推進など医療の面からもみなさまの健康を支えていきたいと願っています。

今年も地域の医療介護事業所として職員一丸となって力を尽くしていきたいと思えます。どうぞよろしくお願いたします。



【目次】

【ページ】

1. 2009年事業所の目指すもの……………2
2. 第52回あすか交流会のお知らせ……………3
3. あすか1月のロードショー
4. あすか事業所だより……………4
5. あすか事業所だより……………5
6. おもしろきかな我が人生
～杉本 智恵子さん～ ……………6
7. 若竹句会 11月作品抄……………7
8. 肺炎球菌ワクチンの接種をおすすめします…8

“ニューズレターあすか”は当法人のホームページ上でも
見ることができます

<http://www.asuka-net.or.jp>

発行元：医療法人あすか

(編集：浜本 正美)

住所：〒731-0103

広島市安佐南区緑井2丁目12-25

TEL:082-879-3143

FAX:082-879-3190

2024

事業所の目指すもの！



あすか療養センター施設長 大北和彦

平成21年の元日を「あすか」の一員として迎えられることを幸せと感じております。病態の芳しくない方々には適切かつ迅速な治療を、体力の落ちた方々には優しい和やかな環境の中で精神的安寧を図り、身体機能維持を図るべくリハビリを、提供できる施設の維持を目指します。今後ともご指導の程よろしくお願い致します。



支援事業所

ご利用者の皆さま、デイやショートステイなどのサービス事業所、ケアマネジャーの連携を密にすることで、ご利用者の皆さまのご意見やご要望を確実にお届けし、サービスにご満足いただけるように頑張ります。



三原 千春

事務

“いつも笑顔で！”を合言葉に、スタッフ全員が患者様に満足していただける対応を目指してがんばります！



中井 祐子

まやるちょーく

ご利用者様が参加されて心む事業所、挨拶や会話、笑い声の絶えない事業所、来て楽しいと言って下さる事業所を目指したいと思います。ご意見などございましたら、遠慮なくご連絡ください。今年もよろしく願います。



高島 留美

しゅりあちょーく

今まで以上に明るい事業所であり職員の知識、技術、質の向上を図っていくために全職員で努力していきます。

見学の方、体験利用の方、来訪者の方々に『是非、しゅりあちょーくに行きたい』と思って頂ける事業所を目指します。

今後も全職員、介護の基本姿勢『心』でご利用者の方々に接していきます。



河野 修

かるやんちょーく

ご利用者様とスタッフが一緒に楽しく笑って過ごす時間を更に増やす事です。またその瞬間、瞬間、一つ一つの感動をみんなで喜び合っていきたいと思っています。



松村 由香里

野ばら

野ばらの抱負は、利用者様が「その人らしく過ごす」です。元気いっぱい、笑いの耐えない日々。季節を感じながら、庭園の花や野菜を育てる喜びを顔なじみのご利用者職員と一緒に感じながら、居心地の良い雰囲気を作っていきたいと思っています。



小田 聖子

すてっぴ

あせらず・ゆっくりとを motto にいろいろなメニューに取り組んでいきます。新たに生活習慣病予防にも取り組み、ご利用者様のご要望にそえる様、職員一同頑張りますのでよろしくお願いいたします。



片山 明美

つどいの家

昨年はお酒を楽しんだり、近所のお店で外食することもできました。これからも家族のようにわきあいあいと楽しく、そしてより様々なご要望にも可能な限り答えていきたいと思っています。本年もスタッフ一同よろしくお願いいたします。



向井芳郎

ショートステイみどりい



森元 智代

私たちは、お一人おひとりに合った介護を目指し、自宅へ帰られる際、「また来るね」との言葉をかけていただけるよう、温かみのある居場所作りをスタッフ一同取り組んでまいります。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

ショートステイいわや



沖田 真弓

利用者の皆さまが、「帰ってきたらほっとするよ」と我が家のように思ってもらえるような、いわやにしていきたいと思っています。毎日の暮らしを楽しく、笑顔いっぱい皆様をお迎えしていきます。



新谷 祐子

病児保育室

2009年の病児保育室の目標は、病気の時に子どもたちが「お母さんと離れるのは寂しいし、しんどいけど、あすか病児保育室なら行ってもいいよ!」と、保護者も子どもたちも安心して利用できるような病児保育室を目指していきます。



第52回あすか交流会のご案内

日時：平成21年1月17日(土) 13:00 ~ 15:00

場所：あすかホール

テーマ：「介護サービスをよく知り、使いこなそう」

平成12年4月介護保険発足から来年で10年目となります。その間、介護サービスのメニューも多様化し、ご利用者様、ご家族のニーズにあったサービスが選択できるようになりました。よりお元気に、不安を軽減し、安心できる日々の創出のために、介護サービスの中身を詳しく知っていただき、活用していく会にしたいと思います。ぜひご参加ください。

あすか 1月のロードショー



【Life ~天国で君に逢えたら~】

この映画は ショートステイいわやで1/14(日)

まやるちょーくで1/16(金)・17(土)

ショートステイみどりいで1/18(日)

しゅりあちょーくで1/19(月) に上映します。

各事業所のシアター開催曜日は下記の通りです。

しゅりあちょーく	まやるちょーく	ショートステイみどりい・いわや
毎週月・木・金曜日	毎週月・火・金・土曜日	毎週日曜日

迫力たっぷり！



神楽

シヨートみどりこ
しよこの家

結構、
重たいんだねー

11/9



昨年引き続き、綾西神楽団による神楽公演が行われました。今年の演目は「戻り橋」で、とてもすばらしい公演でした。

茨木童子は老婆に化相し、傘売り善兵衛に傘を分けてもらい、一条戻り橋まで連れて行ってと頼み、道中、鬼へと変化し善兵衛を襲います。そこで四天王、坂田金時が戦い、茨木童子を倒すというストーリーでした。

傘売り善兵衛の語りには皆様、爆笑の嵐でしたが、鬼が登場した時は、真剣な眼差しで観ていらっしゃいました。

演目が終了した後、衣装を試着させていただくことができ、試着されたご利用者は「立っておくだけで精一杯」と、衣装の重さに驚かれています。

「昨年よりも上手になっとっちゃった」との声もあり、皆様楽しめました。

しゅりあちょーく 野ばら祭

しゅりあちょーく
野ばら

年に一度、皆様の日頃の成果を発表する、「しゅりあちょーく・野ばら祭」がありました。

はじめに、音楽グループの皆様によるハンドベル・ハーモニカ演奏で「ふるさと」「バラが咲いた」を歌いました。とてもきれいな音色で、うっとり。

ひまわりグループは「桃太郎」の紙芝居を行いました。面白い読み語りに歌もあり、皆様大笑い！

パワリハグループはバランスボールを使ったソーラン節を披露してくださいました。

次はご利用者様・職員全員での水戸黄門体操！「いい運動になるね」と歌いながら体を動かしました。

楽しく魅力的な内容で、皆様笑って感動し、あっという間に時間が過ぎました。おやつでは、野ばらのご利用者様の手作りクッキーを食べ「おいしい」と好評でした。



やっぱり手作りは
おいしいねー



11/17

【桃太郎の紙芝居風景】

まやる一座

まやるちよーく

11/29

まやる一座が今年もやって来た

〜鶴の恩返し〜

毎年恒例の“まやる一座”による演劇に加え、今年にはコーラスひまわりの中村様、川井様、藤井様が素晴らしい民謡を披露してくださいました。

ストーリーもまやる独自にアレンジしてあり、何故かガラの悪い人が登場したり、鶴は最後には人間となり幸せな結婚をすると言うお話です。嫁入りの場面ではご利用者は涙され思わず花嫁の手を握り締める方も・・・！涙と笑いに包まれた時間はあっという間に過ぎ、「来年も必ずまやる一座で会いましょう！」と固く約束が交わされました。



どちらが花婿???



名演技！爺・婆・鶴子



自然と笑顔に！

ショートいわや

いわや名物の



11月に入り、だんだんと肌寒くなってまいりました。11月中旬には1日だけですが雪がちらほらとみられ、「冬だねえ、寒くなってきたねえ」とご利用者様もつぶやいておられました。いわやにはそんな寒い時にとっておきの「足湯」があります。「ご利用者様から「足湯に行きたい！」と希望がたくさん出ます。最上階にあるため眺めもよく、湯に足を浸からせながら山の紅葉を見て、心身共に癒されています。

ご利用者様から「いわやの自慢は足湯だね」と言われるほど、大人気です。



あなたも入っておいで！



気持ちいいよ～





「旅行に行く
ことが好きで、
東北や中国にも
行きました」

大正15年8月28日(82歳)

お住まい...安佐南区緑井

「子供のころ」

安佐郡久地の昔からの農家に8人兄弟の4番目として生まれました。お父さんは猟をしていて、頭のいい人だったよ。お母さんはやさしかった。私は小学校のころから、本を読むことが好きで、お姉さんが本や雑誌を買ってくれるのが楽しみでした。子供の時に行ってみたかったところは、満州のハルビン。小学校のときに先生が、ハルビンに住んでいた時の話をしてくれたの。ロシアに近いハルビンは、きれいなところで、ロシア人や中国人いろいろな人がいるって聞いて、どんなところかなあと思っていました。

「娘のころにハルビン」

私が19歳の頃、母のいとこのおじさん・おばさんがハルビンに住んでてね。おばさんは衣料やアイスキャンディーを売る商売をしたの。おばさんがハルビンに来てお店を手伝ってちょうだいって誘ってくれて、「おばさん、私も手伝うから連れてって」と頼んで、ハルビンに2年ほど住むことになったの。お母さんは初め、反対してたけど私があんまり行きたがるから許してくれたんです。広島から下関まで汽車で、下関から釜山までが船、釜山からハルビンまでは汽車を乗り換えながら行ってね。長い道のりも楽しかったよ。

ハルビンに着いたら、ロシアの建物が並んでる大きな街でびっくりしてね。街並みがきれいで、とつてもいい景色でね。特にハルピンは夏がいいの！大きな湖が近くにあって、夏になったら、ロシア人や中国人、沢山の人が遊びに来るところなの。私も浮き輪を持って泳ぎに行ってたの。水はきれいで、海かと思うくらい大きくて。ボートに乗ったり、空気が澄んでて気持ちよかったです。

「ハルビンでの生活」

ハルピンはロシアに近いから、冬は寒くてね。オーバーの内側が毛皮になったシューバーってものを着て、中が毛皮の靴を履いてたの。そんな格好をしているから、冬、外に出るときは体が重くて重くて。でも、日本にいたら知らなかったことばかりで面白かったよ。ハルピンはロシア人・中国人が多くてね。おばさんの商売を手伝うのにロシア語や中国語が必要だから、耳で聞いて覚えていったよ。はじめは、ロシア人・中国人は怖そうに見えたけど、付き合ってみると良い人ばかりだったの。警察官をしていたおじさんは付き合いが広がってね。おじさんの知り合いのロシア人にロシア料理をこちそうしてもらったり、中国人の家によべれたりしてね。みんな親切にしてくれましたよ。

「いい思い出」

兄弟の中でも私だけがハルピンに行って、自分の好きなことをさせてもらってね。私は行って、ほんとに良かったと思うんですよ。人生の中でも一番楽しかった。向こうであったことや体験したことは、とてもいい思い出になりました。

「広島に戻ってきて、現在」

戦争が終わって、広島に戻ってきました。それからお見合いで主人に出会って、結婚したの。主人はとても優しい人でね。娘が二人生まれ嬉しかった！かわいくてね！長女は主人に似て、次女は私に似てるって言われました。今は、長女と孫と一緒に住んで、

大きな犬も一緒に暮らしてます。次女も、よく孫を連れて会いに来てくれてね。しゅりあちよーくには、娘が家で一人にいるよりもって勤めるから通うことになったんだけど、いろんな人とおしゃべりができて楽しいですよ。いろんな人に会って、一緒に笑いながら体を動かすので、とても元気ですよ。



▶ 16年前の婦人会でのバス旅行
「女同士で、おしゃべりをしながらの旅行は楽しかった。」

ハルピンでの楽しかった経験を、身振り手振りを交えて教えてくださいました。聞かせていただいている私もお話に引き込まれ、楽しくなりました。「今度あなたも行ってみたらいいわ」と言われ景色のいい夏にはぜひ、行ってみたいと思います。これからも、しゅりあちよーくで楽しいお話をしてください！
しゅりあちよーく 幾田千代



若竹句会十一月作品抄

ひさかたの 光ひねもす 稲穂かな

粟根 年雄

〔寸評〕特定のことばの上にかかって修飾または口調を整えるのに用いることばを枕言葉とといいます。上五の「ひさかた」は空、天にかかる枕言葉です。天からの光を一日中(ひねもす)浴びて立派に成長した稲穂。天を仰ぎ掌中に稲穂を握りしめる一幕も想定できます。感謝の気持ちが溢れた奥ゆかしい一句です。

合羽着て いちじくをもぐ 日の出前

粟根 年雄

〔寸評〕いちじく(無花果)は秋の季語。合羽はもぐときに出る乳(液汁)が付着するのを防ぐため。日の出前「は鮮度を保持するためとか。いちじくのもぎ方指南の一句。

いしづみの 月日を つひる 秋の色

伊木 幹枝

〔寸評〕「いしづみ」は石碑のこと。日清・日露の戦役碑、原爆慰霊碑などがあちこちに見られます。彫り込んだ碑文の字に、清らかな秋の日が射して、遠く思いを馳せるといふ立派な叙情句です。大東亜戦争後、その碑文にセメントを埋め込んで判読できないいしづみを見ました。今も現存しています。

虫の声 いのちの限り さはやかに

伊木 幹枝

〔寸評〕秋のさわやかな空気をぶるわせるようにすだく虫の声は、昼夜を問わず美しいものです。鳴くのは雄ばかりで、おそらく雌を呼ぶために鳴くのだらうといわれています。作者の「いのちの限り」の発想がうすすかれます。

片マヒで 久しく稲刈り すみません

小西 春良

〔寸評〕季語は稲刈り。今までは収穫時季になれば毎年手伝いに帰っていたが、病気でそれができなくなった。秋がくるとさびしい思いをしている。また実家には申し訳ない気持ちで一杯です、という一句。これを五七五に短く簡潔に表現すると、かえってより深くありありとその思いが浮かんできます。これが俳句です。

里よりの 新米届き うれしいな

小西 春良

〔寸評〕季語は新米。毎年収穫時季になるときまって故郷の新米が届けられる。ありがたいことだ。身に沁みてうれしいと思つ—という二句。「俳句はもので勝負する」といわれています。「うれしいな」は素直な表現でいいのですが、「里よりの新米供ひひとつまみ」でどうか。

新米は 釜の中でも 光っている

常広 信枝

〔寸評〕今年収穫した米。今年米。生活に即した季語。炊き上がった釜の中のことだらう。蓋を取った瞬間のきらめきを捉えたのだらう。「光り」を捉えたところが光っている。



信廣高陽 選 (平成二十年)

松の木も 手入れ次第で 庭光る

常広 信枝

〔寸評〕そつです。反対に手入れを怠つたらどうでしょう。暴れ木になって見てもないことになりませぬ。秋の「松手入」、春の「松の緑摘み」を繰り返すことによつて庭も光るし、屋敷も光るのである。

松手入れ 伴侶の仕事 我がの庭

西 富枝

〔寸評〕松手入れが秋の季語。松の新葉が成長する秋、余分の枝葉を剪捨て、丹念に姿を整える仕事です。作者のご家庭では、ご主人が我が仕事として取り組んでおられるようで敬服します。

(添作句)松手入れ 亭主黙々 わがの庭
大事な伴侶に失礼かな?

「ごちよぎ 木犀の香に」 時思つ

西 富枝

〔寸評〕木犀の名は、薄褐色の幹の紋理が犀の皮に似ているところから名付けられたのだらうです。晩秋になるとこの花は辺り一面に放香を放ちます。作者は一番しあわせな時と酔いしれています。

秋分や 肌寒くてや 身にしみる

大北 政子

〔寸評〕(添作句)秋分や 肌寒くして 身にしみる
切れ字は一句に一つ一つよい働きをする切れ字ですから、これが一句のうちの一つあると、あちこちで句が切れてバラバラになってしまいます。「や」は一つにしてみました。



秋刀魚焼く 柚子絞つてや おいしくて

大北 政子

〔寸評〕毎年秋になると、秋刀魚と柚子とは季節のものとしておのずから思い浮かべられますね。「柚子絞つてや」のやの助詞が、この句の命。

色どりを 晩秋の山 染めわけり

中谷 明子

〔寸評〕季語は晩秋。朝晩はや、肌寒い感じもあります。山々は紅葉の季節を迎えていわれる行楽日和がつづく。そうした反面、檜や樺などの雑木黄葉にはしつらえない自然のよろしさがありません。これらを「染めわけり」とは言い得て妙。

垣根より 香りを共に 金木犀

中谷 明子

〔寸評〕金木犀の芳香を垣根越しに発見したときの感激の一句ですな。

青信号 猫まっしぐら 文化の日

信廣 高陽

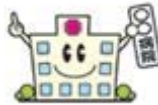
選者 吟



肺炎球菌ワクチンの接種をおすすめします



日本で高齢者（65歳以上）を中心に肺炎で亡くなる人の数は年間8万人です。高齢者の肺炎の起炎菌のトップは肺炎球菌です。肺炎球菌は市中肺炎の原因の50%を占めるといわれています。高齢者がインフルエンザにかかるとその1/4が肺炎になるといわれ、インフルエンザワクチン+肺炎球菌ワクチンの両方を接種することが重要です。申込書とパンフレットをお届けしますので、ご希望の方はお申し込み下さい。



3S

Specialist (専門家)

～医療法人あすかの理念～

職員は、医療、看護、介護の専門家 (Specialist) としての誇りを持ち、実力を高めていくよう努力を続けます。

当法人は ISO9001 の認証施設です

Sympathy (共感)

職員は、患者様と利用者様の人生全体を支えるためにその思いを共感し (Sympathy) 必要サービスを継続的に提供します。



Safety (安全)

職員は、患者様と利用者様の健康と安全 (Safety) に対して細心の注意を払います。

高齢者の在宅療養を支援します

緑井3丁目20・1・103

あすか居宅介護支援事業所

082・830・5177

あすか福祉用具貸与事業所
あすか病児保育室

緑井2丁目12・25

高橋内科小児科医院

デイサービスセンター まやるちよーく

デイサービスセンター かるやんちよーく

通所リハビリテーション すてつぷ

ショートステイ みどりい

小規模多機能型居宅介護事業所 つどいの家

毘沙門台東1丁目24・16

デイサービスセンター しゅりあちよーく

デイサービスセンター 野ばら

あすか療養センター 緑井3丁目40・30

毘沙門クリニック

ショートステイ いわや

デイサービスセンター 野の花(準備中)

【編集後記】
今月は、1月号ということもあり各事業所のリーダーに2009年はどうだったかという事業所にしていきたく志を熱く語っていただきました。その思いが皆様に伝わりますように・・・
長年に渡り、人気連載中の「おもしろきかな我が人生」が3ページ目から、6ページ目に変更になりました。これからも「愛読ください。」